

一般社団法人日本家政学会家族関係学部会

## 第40回 家族関係学セミナープログラム

2020年10月10日(土) 9時40分 ~ 18時15分  
オンライン開催 大会開催校：和洋女子大学

### 日 程

|               |  |
|---------------|--|
| 10月10日(土)     |  |
| 9:40 ~ 12:00  | 自由報告<br>第1分科会<br>第2分科会   |
| 13:00 ~ 13:45 | 40周年記念行事<br>部会長挨拶<br>元部会長からのご挨拶<br>記念講演<br>テーマ：家族関係学部会の40年の活動を振り返る<br>—家族関係学の更なる発展を目指して—<br>優秀著書賞の発表と受賞者のご挨拶 |
| 14:00 ~ 17:00 | 40周年記念シンポジウム<br>テーマ：多様な関係性を持つ家族への理解と支援<br>—ステップファミリーに注目して—   |
| 17:10 ~ 18:15 | 総会   |

#### 【第40回家族関係学セミナー事務局】

和洋女子大学 家政学部家政福祉学科 佐藤宏子

〒272-8533 千葉県市川市国府台 2-3-1

Phone：047-371-1111(代表) 047-371-2437(直通)

E-mail：h-sato@wayo.ac.jp

## 自由報告

9時40分 ～ 12時00分

報告17分、質疑応答5分、報告者交代等1分

### 第1分科会

座長：山下 美紀（ノートルダム清心女子大学）

1. 子育てと情緒規範—日本・中国・デンマークの国際比較を通して  
○宮坂 靖子（金城学院大学）・青木加奈子（京都ノートルダム女子大学）・磯部香（高知大学）・山根真理（愛知教育大学）・李東輝（大連外国語大学）・鄭楊（哈爾濱師範大学）
2. 現代中国における母親のライフコース選択 —「代沟 daigou」を中心に—  
○磯部 香（高知大学）・青木 加奈子（京都ノートルダム女子大学）
3. 女性のキャリア再構築に関する一考察 —子育て経験との関わりから—  
赤松 瑞枝（跡見学園女子大学）

座長：森田 美佐（高知大学）

4. 高学歴である共働き妻の相対的資源と夫婦関係満足度との関連性  
中川 まり（東京女子大学）
5. 育児における「責任」の分担—保活に取り組む共働き夫婦の事例から  
尾曲 美香（お茶の水女子大学）
6. 共働き希望の独身男性における家事分担意識  
—日常の家事遂行との関連に着目して  
柳田 愛美（お茶の水女子大学）

## **第2分科会**

座長：杉井 潤子（京都教育大学）

1. 婚姻継続における危機対処と「別居」の位置づけ  
—国際結婚家庭における男性への聞き取りから—  
山崎 智慧子（一橋大学大学・院）
2. アイデンティティ・ポリティクスにおける脱北者の社会的構成の探究  
尹 鈺喜（北海道教育大学函館校）
3. 家族に関わる子どもの権利保障の動向  
—2010年～2019年の民法改正を中心として—  
小野瀬 裕子（共立女子大学）

座長：木脇 奈智子（藤女子大学）

4. 家族意識の変化が墓と葬送の多様化に及ぼす影響  
牧野 晃子（和洋女子大学・院）
5. 乳幼児連れの外出環境における地域間格差について  
田 姫（お茶の水女子大学）
6. 災害サイクルにおける個人が直面する問題-ジェンダーの視点から-  
駒田 笑奈（名古屋大学・院）

## 40周年記念行事

13時 ～ 13時45分

開会

Zoom 使用についての説明

部会長ご挨拶

元部会長からのご挨拶

袖井 孝子氏（お茶の水女子大学名誉教授）

本村 汎 氏（大阪市立大学名誉教授）

記念講演

長津美代子氏（群馬大学名誉教授）

テーマ：家族関係学部会の40年の活動を振り返る

—家族関係学の更なる発展を目指して—

優秀著書賞の発表

優秀著書賞受賞者のご挨拶

## 40周年記念シンポジウム

14時 ～ 17時

テーマ：多様な関係性を持つ家族への理解と支援—ステップファミリーに注目して—

コーディネーター・司会：久保 桂子（和洋女子大学）  
佐藤 裕紀子（茨城大学）

### 【趣旨】

日本の昨今の婚姻数に占める再婚割合の増加傾向にあり、婚姻カップルの4組に1組は、一方が再婚か夫婦とも再婚のカップルである。再婚者割合の増加は、日本も、ステップファミリーを形成したり、またその構成員になったりすることが稀なことではなく、だれでも経験する可能性がある社会になっていることを示している。

ステップファミリーの構成員自身が、これまでの家族イメージ・家族規範、さらに親イメージに縛られることなく多様な関係性を理解し、それぞれの関係性を相互理解のもとで形成していくことが求められている。そして関係性構築のための当事者への支援とともに、社会全体のステップファミリーへの理解を高めることが、家族関係や子どもの福祉を考える上でますます必要になってきている。

ステップファミリーの問題に取り組むことは極めて今日的な課題であり、家族関係学部会が40年を経て新たなステージに踏み出す第一歩にふさわしい課題であろう。このシンポジウムでは、参加者が多様な関係性への理解を深め、必要な支援を考える機会としたい。

### 【シンポジスト】

基調講演 野沢慎司氏（明治学院大学社会学部教授）

ステップファミリーと「多様な家族」の限界—子どもの視点から壁を超える

講演1 菊地真理氏（大阪産業大学経済学部准教授）

「多様な家族」の限界への挑戦—再婚後の別居親子の継続と共同養育の実践

講演2 緒倉珠巳氏（SAJ(ステップファミリー・アソシエーション

・オブ・ジャパン)代表)

支援を通して見えてきたステップファミリーの課題—20周年を迎えるSAJの実践

17時10分 ～ 18時15分 総会